
君を笑顔にしたいくて

すちーるうーる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君を笑顔にしたいくて

【Nコード】

N4782Z

【作者名】

すちーるごーる

【あらすじ】

これは僕らの恋のお話

転校してきた君に引かれてた僕はある日教室で泣いてる君を見つけた

涙を流す君を見つけて

君が転校してきたのは過ごしやすくなった10月の中旬ぐらいだった
茶色混じりの黒髪を背中まで伸ばした君を見た時こんな可愛い子が
転校してきたんだって驚いたのを覚えている

君はホームルームが終わった後すぐにクラスの皆に質問攻めされて
たね

それを僕は幼馴染みの親友と次の授業の準備しながら見ていた

そして僕が君と仲良くなったきっかけは11月に入ってすぐ君が転
校してきて2週間ぐらいたった頃だった

帰宅中に教科書を忘れた僕は夕陽に赤く染まる教室で1人泣きなが
ら掃除している君を見つけた

教室は綺麗に掃除されており埃の1つも落ちていない
でも君は涙を流しながら箒で床をはわいていた

僕が「どうしたの？どうして泣いてるの？」

そう尋ねても君は可愛い瞳から溢れる涙を隠そうともせずにな
だ泣いてた

どうすればいいか分からなくてもどうにかしたくて無い知恵を振
り絞って出た答えは君を抱き締める

そんな一歩間違えれば警察につき出されそうな事しか思い浮かばな
かった

最初はびっくりしていた君だけどしどしらくするとためらいがちに僕
の背中に腕を回し胸に顔を埋めて泣き始めた

あのと君は辛かったんだろっけど僕は君に頼られた事が嬉しくてぎゅっと君を抱き締めた

どのくらいそうしていたんだろっ？

気付けば赤く染まっていた教室は薄暗くなりグラウンドから聴こえていた運動部の練習の声は聴こえなくなっていた

君の涙はもう止まっていたけどそれでもまだ僕の胸に顔を埋めたままこのままでは埒があかないと思ってさっきと同じ質問を試してみた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4782z/>

君を笑顔にしたくて

2011年12月16日03時54分発行